

学校だより

# かけはし

臨時号  
2020.6.16

## 学校再開2週間

校長 福岡 美智雪

学校に子供たちの姿が戻り、2週間が経ちました。学校が学校らしくなり、校舎も生き生きしているように感じます。

保護者の皆様には、毎朝の検温と健康チェック、マスクの準備など、長期にわたって多くのご協力をいただき、深く感謝しております。また、地域の皆様には、日頃から子供たちの様子を見ていただき、大変助かっております。誠にありがとうございます。

さて、ご家庭での子供たちの生活も、休業前のリズムに戻りつつあることと思います。学校では、保護者の皆様のお陰で、多くの子が早めに登校し、教室で級友とお喋りをしたり、体育館や運動場、ライブラリー(図書室)へ行ったり、低学年は花や野菜に水やりをしたりしております。一方、休業期間が長かったためだと思いますが、気持ちを安定させるのに時間の掛かっている子も見られます。

せっかく再開された学校ですが、子供たちには残念に思うこともあるようです。特に、「密接」しないようにすることが一番残念なのではないかと思えます。

- ・ 級友や友達と顔を近付けてお喋りする(話す)こと
- ・ 級友や友達と体をくっつけて(近付いて)遊ぶこと

などは子供たちが大好きなことです。しかし、これらをさせないように、教職員が日々指導をしたりその場で注意をしたり(気付かせたり)しています。

できるならば思いっきり人と関わって勉強したり遊んだりさせてやりたいところですが、子供の命が第一ですので、「密接」回避の指導をしております。

そして、学校として、文部科学省から出されている「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～(2020.5.22 Ver.1)」に則り、子供たちの学校生活を安全なものにするよう努力しております。

以下、再開後に「飛沫感染」「接触感染」のリスクを軽減するために行っていることを幾つか紹介いたします。

【子供たちに指導していること】

## 1. 石鹸での手洗いを丁寧にを行います。

①～④は全員が同じ時間帯に、⑤～⑦はそれぞれの時間帯に行います。

- ① 登校した時(ランドセルを机に置いてすぐに)
- ② 長休みの終わり
- ③ 給食の前
- ④ 昼休みの終わり
- ⑤ トイレの後
- ⑥ 音楽・体育・図工などの授業の後
- ⑦ 掃除の後 など



<参考> 手洗いについて ～前掲「学校の新しい生活様式」より抜粋～

様々な場所にウイルスが付着している可能性があるため、外から教室等に入る時やトイレの後、給食(昼食)の前後など、こまめに手を洗うことが重要です。手洗いは30秒程度かけて、水と石鹸で丁寧に洗います。また、手を拭くタオルやハンカチ等は個人持ちとして、共用はしないように指導します。手指用の消毒液は、流水での手洗いができない際に、補助的に用いられるものですので、基本的には流水と石鹸での手洗いを指導します。

## 2. マスクを外している時は、人に近づきません。お喋りや不要な話をしません。

マスクを外すのは、

- ① 息苦しい時やとても暑い時 → すぐに外します → ゆっくり呼吸します  
→ 楽になるまで外しておきます

- ② 体育の授業
- ③ 外で遊ぶ時 ☆ ②③④は着用してもよい。
- ④ 登下校時

- ⑤ 「いただきます」から自分が食べ終わるまで など

※ マスク入れを持っていますか。



## 3. マスクを着けている時も、人とすぐそばで向き合いません。

【教職員が毎日行っていること】

### 1. 授業時間中の常時換気と長い休み時間の換気

- ・ 教室の窓や扉を常に2か所(窓側と廊下側)開けておく。
- ・ 長休み、昼休み、掃除時間に窓・扉を全開する。

### 2. 放課後の消毒・掃除

- ・ 教室内を始め、子供や教職員がよく触る箇所を消毒する。
- ・ 児童トイレ(週2回)と各階・特別教室の手洗い場や洗い場を掃除する。



## <お知らせ>

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、マスクの代わりにフェイスシールドを着用させてもよいかというご質問がありました。

学校では、文部科学省の「学校の新しい生活様式」に則り、マスクの着用を基本としておりますが、ご家庭の判断でフェイスシールドを着用させてもよいと考えております。

その際は、以下につきまして、十分なご配慮とご指導、またご了承をお願いいたします。

フェイスシールドについては、マスクと同様に、

- ① 子供の鼻と口をしっかり覆う物(下部の隙間が大きい物)
- ② 子供自身が脱着したり調整したりできる物
- ③ 外した時に入れておく袋(レジ袋など)を持ってくること
- ④ 毎日持ち帰り、洗浄または消毒をすること

をお願いいたします。

また、学校は多くの子供が生活しておりますので、人とぶつかったり物が当たったりすることなどがあります。そのような場合、フェイスシールドの破損や子供の怪我(特に顔)が発生することもあります。

そこで、学校では、

- ① フェイスシールドを着けている場合は、いつも以上に周囲をよく見て行動すること
- ② フェイスシールドを着けている子がいる場合は、互いに近付き過ぎないこと  
(フェイスシールドに当たらないようにするため)
- ③ 体を動かす遊びの時などは着用しないこと
- ④ 交通安全面から、登下校時は着用しないこと

などを児童に指導いたします。

ご家庭でもお子様に十分ご指導くださいますようお願いいたします。